

平成 28 年 6 月 24 日

報道機関 各位

千葉工業大学惑星探査研究センター (PERC)

キーワード: 成層圏, 宇宙塵, バルーン, アストロバイオロジー, モンゴル, 海外連携

<概要>

**千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)と  
モンゴル工業技術大学(IET)らとの成層圏バルーン放球共同実験に成功!**

千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)は、一般社団法人宇宙生命・宇宙経済研究所(ISPA)と大学間交流協定校であるモンゴル工業技術大学(IET)らと共同で、モンゴルの首都ウランバートルから南西に約 400km 離れたウブルハンガイ県アルバイヘル郊外の平原にて、宇宙より飛来する「宇宙塵」採集を目的とした予備実験として、6月10日早朝、成層圏バルーン放球実験を実施しました。バルーンは放球後、成層圏まで上昇し、予定より高い高度 40km で破裂、パラシュートによる緩降下後、放球地点より南東約 70km の地点に着地しました。分析の結果、成層圏での 30hPa 以下の絶対気圧計測にも成功しました。

本実験は大学間交流協定の下にモンゴル工業技術大学と実施する初めての共同実験でありましたが、本実験を通じて関係機関と綿密に調整を進めたことで、これまでモンゴル国内で実施が困難だった恒久的な成層圏バルーン放球実験の道を切り拓くことができました。本実験の成果を元に、今後もモンゴル国内関連機関ならびにモンゴル工業技術大学との連携を深め、継続的かつ多頻度の成層圏バルーン放球実験を実施することにより、宇宙塵の謎の解明に迫ります。



共同実験メンバーの様子



バルーン放球時の様子



成層圏から望む地球の様子

<内容についてのお問い合わせ> ※記者発表会の予定はございません。

前田 恵介 (マエダ ケイスケ)

千葉工業大学 惑星探査研究センター 研究員

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

TEL:047-478-4734(直通)/047-478-0320(事務)

FAX:047-478-0372